

# あすなろ

発行 沖電気の職場を明るくする会 (OAK) TEL 03-3455-6006  
東京都港区三田3-2-20 FAX 03-3451-3595  
メール: oak@fine.memail.jp

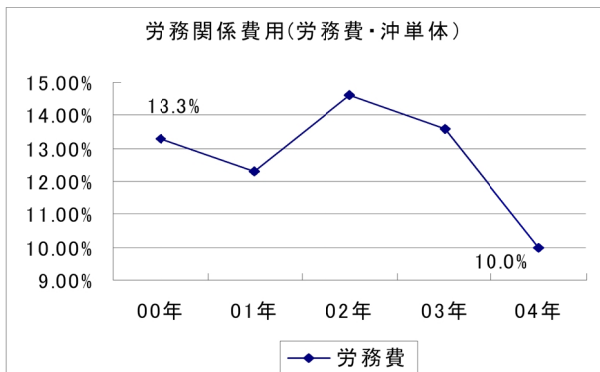
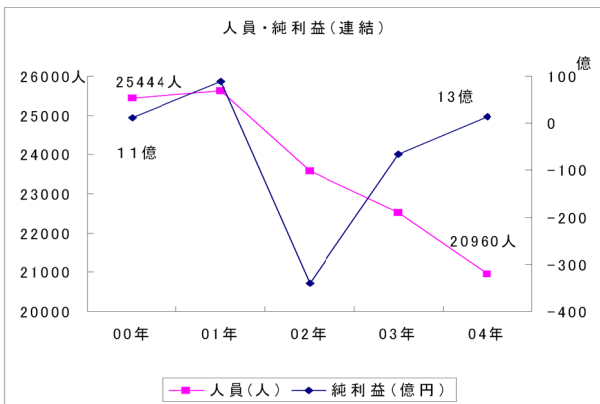
OAK 沖電気の職場を明るくする会

05春闘要求アンケートにご協力下さい

<http://oak47.hp.infoseek.co.jp/>

リストラ効果

## 沖電気の業績V字回復 わが家の家計は大赤字



沖電気は今までも四、五年おきに好不況を繰り返しています。不況になると従業員をリストラで減らして乗りきってきました。その結果残された従業員に負担がかかり、仕事への情熱を失わせ、また、不況になることの繰り返しでした。今回こそこのようなサ

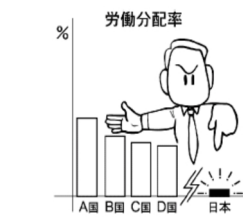
三年連続でベースアップ要求なし、平均六%の賃金カット(二〇〇二年)、特別協定休日八日間・平均三・三%(二〇〇三年)賃金カット。ピーク時に較べると百五十万円も年収がダウンしている。とにかく賃上げしてほしい。賃金ダウンで教育費を捻出するのが大変。小遣を減らされた。三割以上賃下げされた。これからも賃下げされそうで不安。一方的に労働条件を決められた。いつ辞めさせら

二〇〇四年三月の沖電気の経営状況は表のように純利益十三億円と向上しています。〇四年度上期の決算でも当初予算を達成し目標の株主への復配も実現できそうです。しかし、従業員の状況をみるとこの四年間で四四八四名も減少しています。(連結)。製造原価中の労務費は一〇%まで減少(沖単体)し総人件費の減少が利益の大きな要因です。

生活実態はかなり苦しい。やや苦しいが併せて八一%。賃上げでは必要な賃上げ額は三万円以上が三四%、二万円・二四%、一万円・十%と七八%の回答者が賃上げを要求していま切実になっています。四年連続のベースアップなしでは労働者の生活は破壊されます。パート派遣労働者を含めてベースアップが切実に求められています。

イクルを断ち切ってもらいたいもので

れるか不安。「生活保護基準以下の初任給では他の従業員も上がらない。成果主義では、底辺の労働者は下がる一方。もう何年もあちこちの企業に向向して

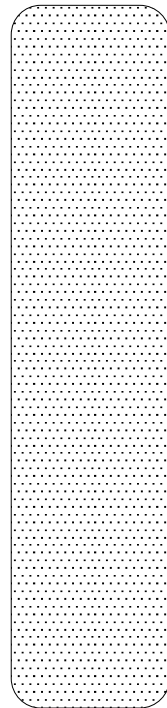


いる。愚痴つても何も解決しないので前向きに働いている。沖電気の経営者は俺たちの苦勞を知っているのだろうか。友人は沖電気の肩たたきで退職したが就職先がなくパートで時給八百円で働いている。労働者が必要な時だけ低賃金で物のように扱われる会社になった。など多くの人が賃上げを要求しています。

今年を振り返ってみると、政治、社会面ではイラク戦争、自衛隊派遣、台風地震による被害、北朝鮮の拉致問題等々、暗い悲しい出来事が多かったように思えますがスポーツ関係は私達を楽しませてくれた事がたくさんありました。さて私たちの職場は、どんな一年だったのでしょうか。たとえば従業員数は昨年から七〇〇名余が減っています。十年前と比較すると半減という状況です。また「不払い残業代」問題では一昨年に一部の従業員に支払われましたが今年は関連企業の沖エアフォルク(福島)で支払われています。それ以外にも退職金等のポイント制、リストラによる人員削減での繁忙やそれに伴うストレスの蓄積などでの欠席、休職は労使協議会でも取り上げられるほどでした。また、いろいろとありました。皆さんの一年はどうだったでしょうか。私たちが取り巻く状況は、厳しいものがあります。来年は、明るい展望が見えるような年にしたいものです。



来年に望む  
二〇〇四年も  
あつたかとなつ  
てきました。が、



偽造防止のために二十年ぶりにお札のデザインが変更された。角度を変えると画像の色や模様が変わり見える。ホログラムや光に透かすと滲き入れられた縦線が見える。滲き入れパターンなどが採用されています。

新札発行に対応するためにATM機の40%の市場を持つ沖電気では派遣社員を多数雇い対応しました。

新札発行日の二〇〇四年十一月一日にはサポーター千五百〇〇人が待機と報道されましたが大きな混乱はなかったようです。

日本銀行発行のお札に女性が採用されたのは樋口一葉が初めてです。「一葉つてどん

なひ と話 題に

「たけくらべ」の作者。という事は知っていても作品を読んだ人は少ないのではないのでしょうか。実はお金に大変苦労をして、暮らしのために仕方なく小説を書いたといわれています。クールでしたたかな女性という新しい一葉像もありますが、今より貧富の差が激しい明治という時代に、家族の生活を背負って生きた女性の強さがそのような評価になったのでしょうか。

東京の台東区にある一葉記念館には人物像とその作品の資料が展示され、命日の十一月二十三日には「一葉祭」が行われています。生活が厳しいことやお金に困っているの

定年制が設けられているのです。ワールドカップやオリンピックという国際試合を担当する国際審判員は45歳以内の全国大会（Jリーグを含む）の審判をする1級審判員は50歳。各種関東大会の審判をする2級審判員は55歳。その下の3級、4級には定年はありません。ちなみに、1級審判員にチャレンジできるのは2級審判員でも35歳までという制限があります。審判員も選手に負けないように体力維持には気を配っているようです。

Jリーグが発足して日本のサッカーも急速に発展してきました。ワールドカップという世界最大のスポーツイベント（オリンピックを越えるそうです）が日本で開催できる時代です。FIFA国際サッカー連盟に加盟する国・地域の協会数は国連を越えています。

そんなサッカーのゲームを支えるのは選手だけではなく、審判の存在も大きく判定ひとつでゲームの流れが大きく変わってしまつた試合をいくつも見ています。

そのために、判定ミス無くそうと、ゲームの速い流れについていけるように審判に

MSC本庄

大便を便器の外で行う。大便を便器になすりつける。便器の排水口にトイレトベ

は現代も変わりません。この機会に一葉の生き方に触れてみるのもいいかもしれません。樋口一葉「いやだ」と云（い）ふ」を出版した田中優子・法政大学教授は「将来への野心を持ちながら学校には行かれなくなる、結婚はできなくなる、いろんなことで一葉は挫折します。でも屈折しない。むしろ、現実と向かい合つてとにかく何とかしようとするそういう人間」と新聞で紹介しています。

樋口一葉・本名 奈津 一八七二年（明治五年） 一八九六年（明治二十九年） 肺結核で死去・享年二四歳

一葉記念館 台東区竜泉三 一八四 〇三 三八七三 〇〇〇四

男子トイレの乱れはさまざま。壁やドアは一杯の落書き。...

消去するのもおもしろい立派な？ 春画などもペンキできれいに塗り消されました。二十数ヶ所のトイレ掃除を担当しているODKM（オーデーケーメンテナンス）は「ここは私たちの職場です。きれいに使ってもらいます」の訴えの貼紙。また、「トイレ内は禁煙です。落書きはどうぞ」と落書き防止（？）の文も出されました。

トイレの照明点灯はセンサーでコントロールされるようになつたが、人の心はそう簡単にはなさそうです。

旧芝浦事業所の建物

東京

先日、以前沖電気芝浦事業所（東京工場）に勤務していた仲間たちと久しぶりに集まる機会がありました。

長い人では二十年以上も会っていない人が多かった人もいて、懐かし話をしました。最後になつて、芝浦事業所が取り壊されると言うことから、「是非、見ておきたい」ということになり、みんなで工事中の芝浦事業所を見に行きました。

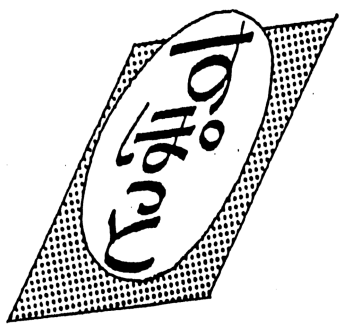
もう建物の形はすっかりなくなり、昔をしのばせるのはわずかに正門が残っているだけでしたが、そこで皆当時のことを思い出しながら話をし、記念写真を撮りました。

昭和一桁生まれの建物もこれからは皆の思い出の中にしか残らなくなってしまうと思うと、ちよつと残念です。

健康は食生活から

本庄

ストレス等で健康問題に關心が高まっています。健康診断でも再検査や指導を受ける人が多くなっているなか、健康食品がブームになっています。本庄工場の食堂でも体のバランスを考えたバランス御膳の弁当が十二月からスタートしました。一日三十品目の



職場はバラバラ

沖エアフォルク

最近ユーザークレームが目立ちます。中には初ロットで不良続出という深刻なものも。これは、ここ数年来の「初仕事」というとなぜか舞い上がった「悪癖」が出たといふのがもっぱらの噂。

それに9月の異動で、それまでフロア（流れ）別の職制から、設備ごとの職制に変更され、東北沖以来の悪しき伝

統「自分の所だけ良ければ」というセクシヨナリズムが加わり、更に「成果主義賃金体系」、プロパー、エールテック系、パート、派遣という雇用関係と来れば、まさに職場

はバラバラ。これを束ねる上層部は？ 下々の声には耳を傾けることが出来ない人もいるようで……。この結果は予想されていたのかも。

健康は食生活から ストレス等で健康問題に關心が高まっています。健康診断でも再検査や指導を受ける人が多くなっているなか、健康食品がブームになっています。本庄工場の食堂でも体のバランスを考えたバランス御膳の弁当が十二月からスタートしました。一日三十品目の

階段下に生後数ヶ月の子猫が十一月頃からいついています。沖ヒューマンネットワーク（総務）から各人宛にメールで「猫に餌をやらないう」と配信がされました。何度も「構内退去」が繰り返されたことですがその都度「舞い戻っています」。以前にも子猫を自宅に持ち帰った人もいましたが、今回も見ること決着しそうです。殺伐とした話題の多い中、ちよつと心の温まる話だと思

職場は正月休みは大ブレイク!

(群馬)

十二月に入ると、職場の話題は年末年始の行事のこと。今年、必ず出てくるのが正月休みの短さです。一月三日までの六連休ですが、「今まで三が日だけの休みはあったかよ。『四日から仕事』が頭にこびりついて休みの気分も半減だ」の声に納得です。年末は大掃除で、正月は家族・親族で新年会という人がほとんどなので四日から仕事ではユツクリ体を休める日がありません。「お客様稼働日に合わせて四日を仕事始めにした。営業だけでなく会社全体がお客様を意識することが大切」ということらしいですが、現場では「お客様廻り」はしないのに。

有給休暇の取得が一向に向上しない原因は、この様な正月休みの設定をする労使にあるような気がしてなりません。

ちよつと心の温まる話

八王子

今年も組合事務所側のもみの木にクリスマスツリーのイルミネーションが飾られました。赤、黄、緑等の点滅する光は定時後の構内と従業員に師走感を演出しています。一方、売店がある厚生棟の